# 年間授業計画【新様式】

## 高等学校令和７年度（２学年用）教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：国語　　科　目：言語文化　　2　単位

対象学年組：第　2 学年

使用教科書：　「言語文化」（数研出版）

教科　国語　　の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 書 | 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 | 地域の「ことば」<br>とんかつ<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。<br>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 現代にも生きる教え<br>徒然草<br>高名の木登り<br>ある人、弓を射ることを習ふに<br>丹波に出雲とふ所あり<br>・歴史的仮名遣い<br>・古典文法<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 中間考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 受け継がれる古典<br>羅生門<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。<br>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 日本語の中に生きる漢文<br>訓読のきまり<br>格言<br>・訓読の基本 | | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 期末考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2学期 | ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 詩歌を味わう<br>六月<br>サーカス<br>短歌<br>俳句<br>・詩の基本<br>・短歌の基本<br>・俳句の基本 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。<br>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。<br>「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで作品構成を評価し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。<br>進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。<br>学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。<br>積極的に俳句の作成に取り組み、見通しをもって、句会に参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 語感を磨く<br>側転と三夏<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 中間考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。<br>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 戦乱下の人間像<br>平家物語<br>木曽の最期・古典文法<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>義仲と兼平の性格の違いについて粘り強く本文を分析しながら考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 「ことば」の力<br>葉桜と魔笛・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで作品展開を理解し、これまでの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 期末考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。<br>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 故事と成語<br>助長<br>漁夫の利<br>虎の威を借る狐<br>管鮑の交わり<br>・古典文法<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。<br>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。<br>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。 | 文体の魅力<br>名人伝<br>・文の成分<br>・指示語<br>・接続語<br>・具体と抽象<br>・主張とその理由<br>・類比・対比・因果 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>作品全体の中で「妙な話」が持つ意味合いを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 学年末考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計<br>78 |